

【表 紙】

## 胃がん・大腸がん検診に関する研究へご協力をお願い

研究課題名：柏市における胃がん検診・大腸がん検診の受診割合に関する  
多施設前向き記述疫学的研究

説明同意書 第 1.1 版 2021 年 12 月 23 日  
第 1.2 版 2022 年 05 月 03 日  
第 1.3 版 2024 年 01 月 09 日  
第 2.0 版 2024 年 09 月 06 日



## 1. 研究と、この説明文書について

この説明書は、研究の内容について説明するものであり、研究対象者の候補となる方が研究の参加について検討する上で、研究の内容を理解し、参加するかどうかを考えていただくために用意しました。

この研究を実施するにあたっては、国立がん研究センター研究倫理審査委員会で審査され、承認を受け、研究機関の長の許可を受けています。

## 2. 参加の自由について

この研究に参加するかどうかは、あなた自身の考えでお決めください。

なお、この研究に参加しない場合でも、あなたはなんら不利益を受けません。また、研究の参加に同意したあとでも、いつでも、またどんな理由でも研究参加をとりやめることができます。その場合も、あなたはなんら不利益を受けません。

これから、この研究についての詳しい説明をお読みになり、研究の内容を理解し、参加を希望する場合は、最後のページの同意書にサインをお願いいたします。

## 3. この研究の対象となる方

この研究は、胃がん・大腸がん検診の対象となる柏市の40歳以上の住民の方を対象に行われます。

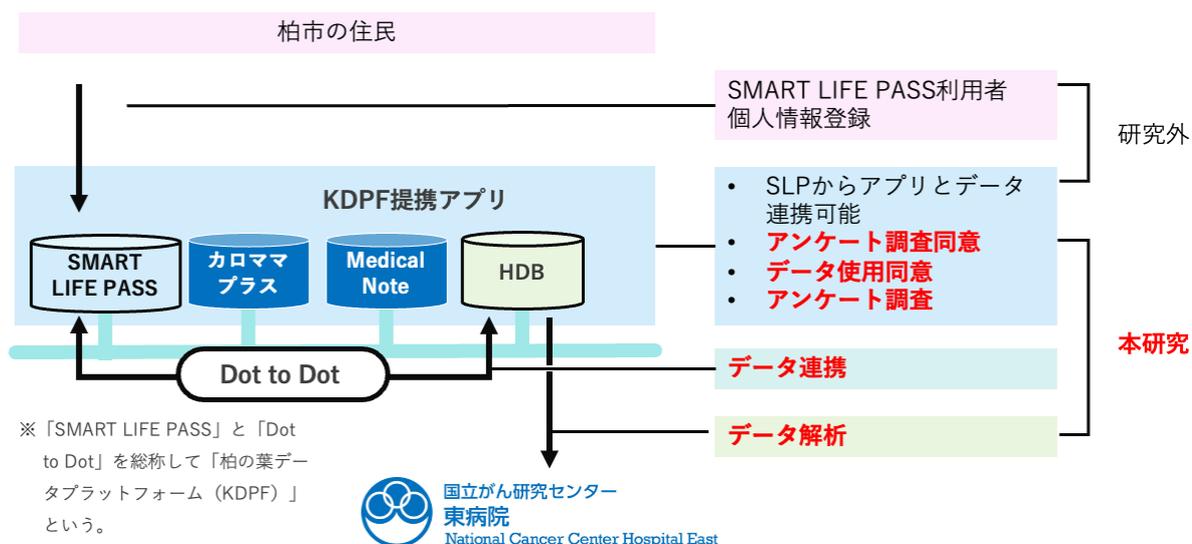
## 4. この研究の意義と目的について

この研究の目的としてはがん検診が推奨される40歳以上の方が胃がん・大腸がん検診をどれくらい受けているのかを明確にすることです。がん検診には柏市で行われる住民検診や職場で行われる職域検診や人間ドックで行われる個人検診があります。受診率を算出する場合にはこれら別々の場所で行われている検診をまとめる必要がありますが、現行のシステムでは住民検診の受診率を算出することしかできないのが実情です。そこでまずは胃がん・大腸がん検診の全体の受診率とがん検診の受診に関わる事項を調査するために研究を計画しました。

## 5. この研究の方法

この研究はインターネットで行うアンケート調査を用いた研究です。アンケートは各臓器ごとに1年に1回最大7年間行われる予定です。アンケート内容は内視鏡検査の経験の有無、胃・大腸がん検診の受診歴、加入している保険の種類、学歴、年収についてです。本研究して実施するアンケートに要する時間は約5分です。

このアンケート調査前には柏の葉アーバンデザインセンターが運営するSMART LIFE PASSというサイトもしくはアプリケーションであるカロママプラスで個人登録(年齢、性別など)をする必要があります。このサイト内にアンケート調査へのリンクがありますので、リンク先からアンケート調査を受けて頂きます。



## 6. 研究参加により予想される利益と不利益

本研究に参加することで、あなたに直接的な利益はありませんが、本研究の成果により将来世代が恩恵を受ける可能性があります。本研究はアンケート調査であり、一人あたり最大で1回/年(各臓器ごとに年1回、現時点では胃と大腸)のアンケート実施が想定され、1回のアンケートで約5分を要することから最大で約10分/年の時間的拘束を受けることが想定されています。

## 7. 研究全体の実施予定期間

この研究は研究開始日より2027年2月28日まで行う予定です。

## 8. 費用負担と謝礼の支払いについて

この研究に参加していただくことにより、あなたに特別な費用負担が発生することはありません。アンケート調査を受けて頂いた場合には柏の葉近隣施設で利用できるポイント(50-500円相当/回)を付与します。

## 9. 個人情報の保護について

この研究にご参加いただいた場合、アンケート内容などこの研究に関するデータは、容易に個人を特定できないように記号化した番号によりエヌ・ティ・ティ・データ（共同研究機関）で管理され、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

## 10. 試料・情報の取扱いについて

この研究で用いたデータは研究者の所属する研究機関のルールに従い、可能な限り長期間保管

させていただきます。これは現在、研究結果を他の誰かがあとから検証できるようにするためには必要な措置だと考えられています。

なお、定められた期間が過ぎ、廃棄が必要になった場合は、それらが誰のものか直ちにわからないよう加工した後に廃棄させていただきます。

また今回の研究において、あなたに提供して頂いたデータはとても貴重なものであり、この研究が終わった後も保管しておけば、将来新たな研究成果を生み出す可能性があります。

そのため、この研究で用いた様々なデータを将来の医学的研究のために使うことに同意いただけの方は、研究終了後も当院で大切に保管させていただき将来的に別の研究に利用させていただく可能性があります。新たな研究に用いる際には、あらためて研究計画書を作成し、研究倫理審査委員会の承認を受けた上で行います。

## 11. この研究の結果の公表と返却について

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表いたします。発表に際しあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究の実施によって、あなたの健康状態に関係する新たな知見が得られることは想定されないため、個別に結果をお伝えすることはありません。

## 12. この研究の資金と利益相反について

### 1) 「利益相反」の説明

研究における利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

### 2) 利益相反の有無および内容説明に関する記載

本研究は、研究契約に基づき三井不動産株式会社から資金提供を受けて実施しますが、本研究の結果に影響を及ぼすことがないように、研究の透明性、信頼性の確保を図りながら研究を実施します。

### 3) 利益相反の管理方法に関する記載

国立がん研究センター東病院の研究者の利益相反の管理は、国立がん研究センター利益相反委員会が行っています。三井不動産株式会社とは、それぞれ利害の衝突が生じないように、研究の透明性および信頼性の確保を図っており、研究者の利益相反は各施設で管理がされています。詳細をお知りになりたい場合は、担当医までお問い合わせください。

## 13. 研究組織・連絡先

この研究について何か知りたいことや、何か心配なことがありましたら、担当医に遠慮なく

おたずね下さい。(また、研究終了後の結果についてお知りになりたい方も担当医におたずね下さい。)

研究代表者

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野友規  
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1  
TEL : 04-7133-1111

研究責任者

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野友規  
役割:本研究の研究代表者であり、研究の統括を行う。  
三井不動産株式会社 柏の葉まちづくり推進部 主査 竹川 励  
役割:本研究の共同研究者であり研究計画などを国立がん研究センターと協力しながら行う。  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 吉行 隆一  
役割:本研究の共同研究者であり、データ解析を国立がん研究センターと協力しながら行う。

研究事務局

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 新村健介  
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1  
TEL : 04-7133-1111

共同研究機関および共同研究者

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科  
矢野友規、新村健介、門田智裕、村野竜朗、中條恵一郎、砂川弘憲、稲場 淳  
国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部  
岩崎 基  
国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部  
中山 富雄